

教育改善のための IR 入門ワークショップ①②

■講師



中井 俊樹

(名古屋大学高等教育研究センター 准教授)

1998年に名古屋大学高等教育研究センター助手となり、2007年より現職。2003年から2005年に同評価情報分析室協力教員を併任。大学院教育発達科学研究科において高等教育マネジメント分野の授業を担当。著書に、『大学のIR Q&A』(共編著、近刊予定)、『大学の教務Q&A』(共編著)、『大学教員のための教室英語表現300』(編著)、『大学教員準備講座』(共著)、『成長するティップス先生』(共著)などがある。



山田 剛史

(愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室 准教授)

神戸大学大学院総合人間科学研究科・博士後期課程修了。博士(学術)。島根大学教育開発センター講師・実施部門長、副センター長・准教授を経て、2011年より現職。2012年より教育調査・分析部門長、経営情報分析室室員を務める。著書に、『大学のIR Q&A』(共著、近刊予定)、『生成する大学教育学』(共著)、『大学生の学習・生活実態調査報告書』(共著)、『自己意識研究の現在 2』(共著)などがある。

■プログラム概要

IR(インスティテューショナル・リサーチ)は、学内外の多様なデータを用いて計画立案、政策形成、意思決定を支援するための情報を提供する活動です。情報を提供するという行為は、単にデータを提供するのは異なります。大学にはさまざまなデータがありますが、多くのデータはある事実を表した無機質なものにすぎません。データから意味のある情報へと変換することが、IRの業務の本質であり醍醐味と言えます。

データを意味のある情報に変換するには、そのデータがどのような意味を持っているのか、他のデータとどのような関係があるのかなど、問題意識を持って仮説を立てたり解釈したりすることが必要です。また、データを加工して意味のある情報に変換するためには、各種分析手法も重要になります。

本ワークショップでは、IRの実践のための指針、IRの標準的なプロセスや具体的手法、IRの実践事例を通して、実際の教育改善の場面で活用できるIRの基本的な知識と技能を身につけることを目指します。

■主な受講対象

IRの実践に関心のある教員・職員

■本プログラムの到達目標

1. どのような指針にそってIRの実践を進めたらよいかを自分の言葉で説明できる
2. IRの実践の標準的なプロセスと課題を自分の言葉で説明できる
3. IRの知識と技能を教育改善の具体的事例に応用することができる
4. IRに関する多様な考え方や経験を尊重し、参加者間で共に学びあう雰囲気貢献することができる
5. ワークショップ終了後も自ら学べるように、自身の課題と学習の情報源を把握する

■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成25年8月21日(水) 10:00～15:00

会 場 : 愛媛大学 城北キャンパス 愛大ミュージズ 3階 M32教室

定 員 : 50名